

議員提出議案第8号

少人数学級の実現を求める意見書

上記の議案を会議規則第14条第1項の規定により提出する。

令和2年12月8日

提出者 西東京市議会議員 大 竹 あつ子

賛成者 西東京市議会議員 森 しんいち

西東京市議会議員 かとう 涼 子

西東京市議会議員 納 田 さおり

西東京市議会議員 田村 ひろゆき

少人数学級の実現を求める意見書

学校教育は新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受けている。子どもたちは、学習の遅れや感染防止対策を講じての学校生活の中で、いまだかつてないストレスにさらされている。しかも、通常の学級規模である40人学級では、感染防止対策である身体的距離が取れない。

学校再開直後の分散登校中の少人数授業で、子どもたち一人一人の顔がよく見えることや、授業がよくわかることを、先生も子どもたちも実感した。

感染防止対策としても、丁寧な教育を行う上でも、今こそ少人数学級が必要と、全国知事会会長、全国市長会会長、全国町村会会長、教育研究者などが「少人数学級の実現」を求めている。

また、10月16日に行われた文部科学省の中央教育審議会において初等中等教育分科会による「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（中間まとめ）が報告された。この中で「新しい生活様式」を踏まえた身体的距離の確保に向けて、教室等の実態に応じて少人数編成を可能とするなど、少人数によるきめ細かな指導体制等の検討を進め、教師の人材確保を含め、新時代の学びを支える指導体制や、必要な施設・設備の計画的な整備を図るべきとの報告がなされた。

さらに、11月13日の衆議院文部科学委員会での少人数学級の実現を求める質疑に、萩生田文部科学大臣は「不退転の決意で臨む」と応じた。

政府の教育再生実行会議の少人数学級の議論では、新たな学びの実現に向け、適正な児童・生徒数にすることが目的だという意見があり、多くの賛同を得た。

よって西東京市議会は、感染防止対策を進め、子どもたちが安心して学ぶために、速やかに少人数学級を実施するよう、必要な予算措置を行うことを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

西東京市議会議長 田 中 のりあき

提出先 内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣